事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月26日更新

事務事業名	中九州横断道路事業用地先行取得特別会計繰出金支出事務				☐ マニフェスト関連	☐ 全庁横断課題関連	☐ 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康		所属部	都市建設部	課長名 原田 和彦
	施策	24	計画的な道路の整備		所属課	建設課	担当者名 上田 民子
	施策の柱	66	計画的な道路の整備		所属班	維持管理班	(内線) 5252
予算科目	会計一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 11821	根拠法令 合志市用地先行取得事業特別会計条例	
終了、開始年度	☐ 5年度で終了 ☒ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 5 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	中九州横断道路（一般国道57号大津熊本道路）の早期供用の実現を図るため、令和5年度より用地対策室が新設され事業用地の先行取得に関する特別会計を設け本市においても協力することとなった。事業実施者である国（国土交通省）・県・市が連携し早期着工を推進するため、用地先行取得に必要な用地費や補償費以外の費用を一般会計より繰出す。
【業務の流れ】	請求書受領、支出負担行為兼支出命令書の起票
【主な予算費目】	繰出金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	事業用地先行取得特別会計繰出金の支出を行った。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 事業用地先行取得特別会計繰出金の支出を行う。
【基準に達しなかった理由】 用地先行取得事業特別会計の決算見込み減により、繰出金の戻入があったため。		
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 予算現額		R5年度からの事業開始に伴う用地先行取得事業特別会計への繰出金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市が用地先行取得を委託された土地	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 事業用地 m
		→ イ: 土地所有者 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	計画どおりに土地を取得	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 取得用地 m
		→ イ: 土地譲渡者 人
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 中九州横断道路の早期着工		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	千円			200,000	186,710	435,050	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	m ²			17,769.49	17,769.49	34,130.56	0	0	0
	イ	人			10	10	23	0	0	0
③ 成果指標	ア	m ²			17,769.49	17,769.49	34,130.56	0	0	0
	イ	人			10	10	23	0	0	0
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円				552	4,050	4,050	4,050	4,050
	(A) 事業費計	千円			0	552	4,050	4,050	4,050	4,050
(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間			1	10	1	1	1	1
	(B) 人件費計	千円			3	36	3	3	3	3
トータルコスト(A)+(B)		千円			3	588	4,053	4,053	4,053	4,053

事務事業名	中九州横断道路事業用地先行取得特別会計繰出金支出事務	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 請求に応じて適正な執行に努める。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 国が進める高規格道路の整備に関する事業であることから、向上の余地が無い。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似した事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 国が示す国庫債務負担行為(用地国債)の年割額に基づき支出するため削減の余地は無い。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 国が示す国庫債務負担行為(用地国債)の年割額に基づく支払い事務であるため、公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 繰出金支出事務については市が行うべきである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

--	--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p>☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p>☐事業のやり方改善 (効率性改善) ☐事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p>☒現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						